



## 2016年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2016年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 小松製作所

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大橋 徹二

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 本多 孝一

TEL 03-5561-2616

四半期報告書提出予定日 2016年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2016年3月期第3四半期の連結業績(2015年4月1日～2015年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2016年3月期第3四半期	1,370,517	△4.6	154,666	△15.0	153,165	△15.0	103,742	△11.0
2015年3月期第3四半期	1,436,625	3.4	181,897	9.8	180,248	5.9	116,513	1.0

(注)四半期包括利益 2016年3月期第3四半期 75,128百万円 (△68.1%) 2015年3月期第3四半期 235,474百万円 (6.5%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2016年3月期第3四半期	110.07	109.92
2015年3月期第3四半期	122.31	122.15

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2016年3月期第3四半期	2,670,335	1,615,614	1,547,909	58.0	1,642.15
2015年3月期	2,798,407	1,598,500	1,528,966	54.6	1,622.48

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2015年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2016年3月期	—	29.00	—	—	—
2016年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2016年3月期の連結業績予想(2015年4月1日～2016年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,880,000	△5.0	221,000	△8.7	214,000	△9.4	138,000	△10.4	146.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 0社 (社名) 、 除外 0社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2016年3月期3Q	971,967,660 株	2015年3月期	971,967,660 株
② 期末自己株式数	2016年3月期3Q	29,357,034 株	2015年3月期	29,602,836 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2016年3月期3Q	942,501,532 株	2015年3月期3Q	952,635,446 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）2016年3月期第3四半期（3カ月）の連結業績（2015年10月1日～2015年12月31日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3カ月）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2016年3月期第3四半期	478,020	△ 3.2	55,645	△ 1.1	55,286	△ 2.4	38,646	0.3
2015年3月期第3四半期	494,073	6.4	56,238	△ 0.8	56,652	△ 1.8	38,527	5.5

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2016年3月期第3四半期	41.00	40.94
2015年3月期第3四半期	40.50	40.44

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 5
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
（1）四半期連結貸借対照表	P. 6
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
（4）継続企業の前提に関する注記	P. 11
（5）セグメント情報	P. 11
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツグループは、2016年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「Together We Innovate GEMBA Worldwide」を掲げ、①イノベーションによる成長戦略、②既存事業の成長戦略、③土台強化のための構造改革、を重点項目として活動しています。

2016年3月期第3四半期（2015年4月1日から2015年12月31日まで）の連結売上高は1兆3,705億円（前年同期比4.6%減）となりました。建設機械・車両部門では、北米において一般建設機械の需要を着実に取り込んだものの、鉱山機械の需要低迷に伴う販売減少や中国をはじめとする新興国の需要が大幅に減少し、売上げは前年同期を下回りました。産業機械他部門では、半導体業界の安定的な設備稼働に支えられメガフォトン（株）の売上げが伸長したものの、全体として売上げは前年同期を下回りました。

利益につきましては、主に米ドルに対して為替が円安に推移する中、建設・鉱山機械の需要変動に対応するため継続的に行っているグローバルでの構造改革を含む固定費の削減に取り組んだものの、建設機械・車両部門の販売量減少により、営業利益は1,546億円（前年同期比15.0%減）となりました。売上高営業利益率は前年同期を1.4ポイント下回る11.3%、税引前四半期純利益は1,531億円（前年同期比15.0%減）、当社株主に帰属する四半期純利益は1,037億円（前年同期比11.0%減）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 [ A ] 1ドル = 106.5円 1ユーロ = 140.5円 1元 = 17.2円	当第3四半期 連結累計期間 [ B ] 1ドル = 121.7円 1ユーロ = 133.8円 1元 = 19.4円	増減率 % [ (B-A)/A ]
<b>売上高</b>	<b>1,436,625</b>	<b>1,370,517</b>	△ 4.6
建設機械・車両	1,285,699	1,219,692	△ 5.1
産業機械他	155,912	154,456	△ 0.9
消去	△ 4,986	△ 3,631	-
<b>セグメント利益</b>	<b>181,196</b>	<b>146,978</b>	△ 18.9
建設機械・車両	171,829	136,986	△ 20.3
産業機械他	11,660	11,993	2.9
消去又は全社	△ 2,293	△ 2,001	-
<b>営業利益</b>	<b>181,897</b>	<b>154,666</b>	△ 15.0
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>180,248</b>	<b>153,165</b>	△ 15.0
<b>当社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>116,513</b>	<b>103,742</b>	△ 11.0

※本文に記載しています売上高および利益は、すべて2015年4月から12月までの9カ月間の累計です。また、セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

#### 【建設機械・車両】

建設機械・車両部門の売上高は1兆2,196億円（前年同期比5.1%減）、セグメント利益は1,369億円（前年同期比20.3%減）となりました。

昨年2月に日本で開始した建設現場の課題解決のためのソリューション事業「スマートコンストラクション」については、昨年9月よりサービス運用を始めたクラウドプラットフォーム「KomConnect」と、ICT建機に新たに搭載した「ステレオカメラ」により、施工現場の全エリアを3次元データで掌握することを実現しました。またICT油圧ショベルの商品系列を拡大させ、後方超小旋回機「PC128USi-10」を日本市場に導入しました。あらゆるモノがICTでつながる建設現場の「IoT（Internet of Things）」の実現により、お客様の施工全体の安全と生産性向上に貢献し、国内におけるICT建機の導入現場数は1,000を超えました。また日本、北米、欧州に続き、オーストラリアでもICTブルドーザーの導入を開始しました。

日本、北米、欧州で2014年から順次適用が始まっている新排出ガス規制に対応した商品については計28機種を開発し、販売拡大に努めました。

建設・鉱山機械の新車需要が落ち込む中でも、アフターマーケットの需要を着実に取り込んだ結果、部品の売上げは伸長しました。アフターマーケットの更なる体制強化を図るため、「こまつの杜」（石川県）の敷地内に代理店サービス員の育成のための「モデルトレーニングセンタ」を新設しました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 [ A ]	当第3四半期 連結累計期間 [ B ]	増 減	
			金 額 [ B-A ]	増減率 % [ (B-A)/A ]
日本	244,714	230,423	△ 14,291	△ 5.8
北米(※1)	218,281	286,620	68,339	31.3
中南米(※1)	198,767	168,273	△ 30,494	△ 15.3
米州	417,048	454,893	37,845	9.1
欧州	107,300	102,719	△ 4,581	△ 4.3
CIS	42,325	36,473	△ 5,852	△ 13.8
欧州・CIS	149,625	139,192	△ 10,433	△ 7.0
中国	86,886	52,294	△ 34,592	△ 39.8
アジア(※2)	155,589	148,072	△ 7,517	△ 4.8
オセアニア	105,910	85,149	△ 20,761	△ 19.6
アジア(※2)・オセアニア	261,499	233,221	△ 28,278	△ 10.8
中近東	41,969	45,995	4,026	9.6
アフリカ	82,666	61,616	△ 21,050	△ 25.5
中近東・アフリカ	124,635	107,611	△ 17,024	△ 13.7
合計	1,284,407	1,217,634	△ 66,773	△ 5.2

(※1) 当第1四半期連結累計期間より、メキシコ代理店の買収に伴い、「北米」に含まれていた一部のメキシコ向け売上高を「中南米」に変更しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の数値を当第3四半期連結累計期間の表示に合わせ組替えて表示しています。

(※2) 「アジア」は日本および中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

新排出ガス規制導入に伴い拡大するミニ建機の需要を取り込んだものの、小型建機を中心とした新排出ガス規制に伴う反動減と、一般建設機械のレンタル業界向けの需要減少により、売上げは前年同期を下回りました。

<米州>

北米では、鉱山向けやエネルギー向けの需要は引き続き低調に推移したものの、米国の住宅建設および道路などのインフラ分野向けの需要が堅調に推移した結果、売上げは前年同期を上回りました。

中南米では、鉱山機械の需要が低調に推移したことに加え、ブラジルで一般建設機械の需要が低迷したため、売上げは前年同期を下回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、一部主要市場を中心に需要を着実に取り込んだものの、為替が前年同期に比べ円高に推移したことから売上げは前年同期を下回りました。

CISでは、鉱山向け部品の販売は増加したものの、一般建設機械の需要が減少したことに加え、為替がルーブル安に推移したことから、売上げは前年同期を下回りました。

<中国>

中国政府による金融緩和などの景気下支え策は低迷する需要に対する効果が見えず、売上げは前年同期を大きく下回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、インドなどで需要を取り込むことができたものの、最大市場であるインドネシアなどで需要が低迷したことから、売上げは前年同期を下回りました。

オセアニアでは、鉱山向け需要が依然低調に推移し、売上げは前年同期を下回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、原油安の影響などにより主要市場であるサウジアラビアの需要が低調であるものの、オマーン、カタールなどの湾岸諸国でインフラ工事プロジェクト向けの需要を取り込んだことから、売上げは前年同期を上回りました。

アフリカでは、主要市場である南アフリカの鉱山向け需要が減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

**【産業機械他】**

産業機械他部門では、半導体業界の安定的な設備稼働に支えられギガフォトン（株）の売上げが伸長したものの、鍛圧機械の販売が減少したことから、売上高は1,544億円（前年同期比0.9%減）となりました。セグメント利益は119億円（前年同期比2.9%増）となりました。

高い生産性とランニングコストの大幅な低減を実現した小型ACサーボプレスは昨年6月に新機種を追加し、更なる販売拡大に努めました。またギガフォトン（株）では、お客様の半導体製造工場の稼働コスト低減をサポートする新たなプログラムを提供し、更なる販売拡大に努めました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

＜財政状態＞

当第3四半期連結会計期間末は、たな卸資産の減少などにより、総資産は前期末に比べ1,280億円減の2兆6,703億円となりました。有利子負債残高は、グループ内資金の有効活用などにより、前期末に比べ591億円減の5,300億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ189億円増の1兆5,479億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ3.4ポイント増の58.0%となり、ネット・デット・エクイティ・レシオ（注）は前期末の0.32に対して、0.27となりました。

（注）ネット・デット・エクイティ・レシオ（ネット負債資本比率）＝（有利子負債－現預金）／株主資本

＜キャッシュ・フロー＞

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益1,080億円に加え、受取手形及び売掛金の回収やたな卸資産の減少などにより、2,103億円の収入（前年同期比221億円の収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、962億円の支出（前年同期比362億円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入債務の返済や配当金の支払いなどにより、1,130億円の支出（前年同期は679億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ11億円減少し、1,048億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

昨年4月27日に公表しました2016年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

該当事項はありません。

②①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。



### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2015年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2015年12月31日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（資産の部）				
流動資産				
現金及び現金同等物	105,905		104,802	
定期預金	1,407		1,790	
受取手形及び売掛金	620,076		599,876	
たな卸資産	622,876		586,675	
繰延税金及びその他の流動資産	171,171		148,705	
流動資産合計	1,521,435	54.4	1,441,848	54.0
長期売上債権	280,138	10.0	275,363	10.3
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	28,358		28,923	
投資有価証券	73,420		57,014	
その他	1,731		2,858	
投資合計	103,509	3.7	88,795	3.3
有形固定資産	743,919	26.6	722,527	27.1
営業権	36,266	1.3	37,439	1.4
その他の無形固定資産	58,715	2.1	56,392	2.1
繰延税金及びその他の資産	54,425	1.9	47,971	1.8
資産合計	2,798,407	100.0	2,670,335	100.0

区分	前連結会計年度末 (2015年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2015年12月31日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（負債の部）				
流動負債				
短期債務	191,937		192,272	
長期債務 －1年以内期限到来分	117,922		133,338	
支払手形及び買掛金	225,093		194,354	
未払法人税等	39,396		18,855	
繰延税金及びその他の流動負債	230,563		212,761	
流動負債合計	804,911	28.8	751,580	28.1
固定負債				
長期債務	279,270		204,398	
退職給付債務	55,396		55,029	
繰延税金及びその他の負債	60,330		43,714	
固定負債合計	394,996	14.1	303,141	11.4
負債合計	1,199,907	42.9	1,054,721	39.5
（純資産の部）				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	138,696		138,363	
利益剰余金				
利益準備金	40,980		44,018	
その他の剰余金	1,220,338		1,266,346	
その他の包括利益（△損失）累計額	113,018		82,843	
自己株式	△ 51,936		△ 51,531	
株主資本合計	1,528,966	54.6	1,547,909	58.0
非支配持分	69,534	2.5	67,705	2.5
純資産合計	1,598,500	57.1	1,615,614	60.5
負債及び純資産合計	2,798,407	100.0	2,670,335	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
（第3四半期連結累計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年12月31日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	1,436,625	100.0	1,370,517	100.0
売上原価	1,009,669	70.3	970,106	70.8
販売費及び一般管理費	245,760	17.1	253,433	18.5
その他の営業収益（△費用）	701	0.0	7,688	0.6
営業利益	181,897	12.7	154,666	11.3
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	2,382	0.2	2,826	0.2
支払利息	△ 7,131	△ 0.5	△ 6,853	△ 0.5
その他（純額）	3,100	0.2	2,526	0.2
合計	△ 1,649	△ 0.1	△ 1,501	△ 0.1
税引前四半期純利益	180,248	12.5	153,165	11.2
法人税等	61,211	4.3	46,984	3.4
持分法投資損益調整前四半期純利益	119,037	8.3	106,181	7.7
持分法投資損益	2,957	0.2	1,904	0.1
四半期純利益	121,994	8.5	108,085	7.9
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	5,481	0.4	4,343	0.3
当社株主に帰属する四半期純利益	116,513	8.1	103,742	7.6
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	122.31 円		110.07 円	
希薄化後	122.15 円		109.92 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	121,994	108,085
その他の包括利益（△損失）－税控除後		
外貨換算調整勘定	113,032	△ 24,592
未実現有価証券評価損益	3,972	△ 10,177
年金債務調整勘定	△ 2,223	1,344
未実現デリバティブ評価損益	△ 1,301	468
合計	113,480	△ 32,957
四半期包括利益（△損失）	235,474	75,128
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	12,221	1,954
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	223,253	73,174

（第3四半期連結会計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2014年10月 1日 至 2014年12月31日		当第3四半期連結会計期間 自 2015年10月 1日 至 2015年12月31日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	494,073	100.0	478,020	100.0
売上原価	350,600	71.0	344,685	72.1
販売費及び一般管理費	84,966	17.2	84,760	17.7
その他の営業収益（△費用）	△ 2,269	△ 0.5	7,070	1.5
営業利益	56,238	11.4	55,645	11.6
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	876	0.2	940	0.2
支払利息	△ 2,475	△ 0.5	△ 1,980	△ 0.4
その他（純額）	2,013	0.4	681	0.1
合計	414	0.1	△ 359	△ 0.1
税引前四半期純利益	56,652	11.5	55,286	11.6
法人税等	17,200	3.5	15,690	3.3
持分法投資損益調整前四半期純利益	39,452	8.0	39,596	8.3
持分法投資損益	1,089	0.2	707	0.1
四半期純利益	40,541	8.2	40,303	8.4
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	2,014	0.4	1,657	0.3
当社株主に帰属する四半期純利益	38,527	7.8	38,646	8.1
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	40.50 円		41.00 円	
希薄化後	40.44 円		40.94 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2014年10月 1日 至 2014年12月31日	当第3四半期連結会計期間 自 2015年10月 1日 至 2015年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	40,541	40,303
その他の包括利益（△損失）－税控除後		
外貨換算調整勘定	73,635	△ 6,079
未実現有価証券評価損益	3,314	△ 1,200
年金債務調整勘定	376	402
未実現デリバティブ評価損益	△ 228	133
合計	77,097	△ 6,744
四半期包括利益（△損失）	117,638	33,559
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	6,499	2,024
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	111,139	31,535

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第3四半期 連結累計期間 自 2014年 4月 1日 至 2014年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自 2015年 4月 1日 至 2015年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	121,994	108,085
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）への調整		
減価償却費等	74,084	82,571
法人税等繰延分	4,181	4,843
投資有価証券売却損益及び減損	△ 935	△ 3,700
有形固定資産売却損益	△ 4,547	△ 8,885
固定資産廃却損	2,195	1,663
未払退職金及び退職給付債務の増減	731	934
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	67,831	16,449
たな卸資産の増減	△ 12,202	26,225
支払手形及び買掛金の増減	5,047	△ 30,511
未払法人税等の増減	△ 17,393	△ 20,308
その他（純額）	△ 8,482	32,964
営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	232,504	210,330
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 147,316	△ 123,281
固定資産の売却	16,063	24,405
売却可能投資有価証券等の売却	1,876	5,125
売却可能投資有価証券等の購入	△ 11	△ 370
子会社及び持分法適用会社株式等の取得（現金取得額との純額）	△ 3,081	△ 796
貸付金の回収	169	207
貸付金の貸付	△ 2	—
定期預金の増減（純額）	△ 197	△ 1,549
投資活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 132,499	△ 96,259
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	200,026	106,828
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△ 196,029	△ 173,366
満期日が3カ月以内の借入債務の増減（純額）	23,693	12,398
キャピタルリース債務の減少	△ 3,503	△ 533
自己株式の売却及び取得（純額）	△ 18,635	67
配当金支払	△ 55,324	△ 54,696
その他（純額）	△ 18,136	△ 3,724
財務活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 67,908	△ 113,026
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 3,228	△ 2,148
現金及び現金同等物純増減額	28,869	△ 1,103
現金及び現金同等物期首残高	90,872	105,905
現金及び現金同等物四半期末残高	119,741	104,802

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2014年4月1日 至 2014年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	1,284,407	152,218	1,436,625	—	1,436,625
（2）セグメント間の内部売上高	1,292	3,694	4,986	△ 4,986	—
計	1,285,699	155,912	1,441,611	△ 4,986	1,436,625
セグメント利益	171,829	11,660	183,489	△ 2,293	181,196

当第3四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	1,217,634	152,883	1,370,517	—	1,370,517
（2）セグメント間の内部売上高	2,058	1,573	3,631	△ 3,631	—
計	1,219,692	154,456	1,374,148	△ 3,631	1,370,517
セグメント利益	136,986	11,993	148,979	△ 2,001	146,978

前第3四半期連結会計期間（自 2014年10月1日 至 2014年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	441,517	52,556	494,073	—	494,073
（2）セグメント間の内部売上高	521	944	1,465	△ 1,465	—
計	442,038	53,500	495,538	△ 1,465	494,073
セグメント利益	55,077	3,851	58,928	△ 421	58,507

当第3四半期連結会計期間（自 2015年10月1日 至 2015年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
（1）外部顧客に対する売上高	424,784	53,236	478,020	—	478,020
（2）セグメント間の内部売上高	761	436	1,197	△ 1,197	—
計	425,545	53,672	479,217	△ 1,197	478,020
セグメント利益	44,584	4,460	49,044	△ 469	48,575

（注） 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2014年4月1日 至 2014年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2015年4月1日 至 2015年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結累計期間	308,372	453,562	157,141	103,790	289,079	124,681	1,436,625
当第3四半期連結累計期間	297,330	486,266	149,540	72,125	257,318	107,938	1,370,517

前第3四半期連結会計期間（自 2014年10月1日 至 2014年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自 2015年10月1日 至 2015年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結会計期間	112,330	162,992	50,125	33,836	95,064	39,726	494,073
当第3四半期連結会計期間	110,687	179,329	48,226	23,310	84,238	32,230	478,020

※ 日本及び中国を除きます。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。